

EGS5のWindows PC へのインストール

KEK 波戸、平山




最終変更 2018-07-12

テキスト: [installation_guide.pdf](#)

コマンドプロンプトとg77の準備

- Fortran コンパイラーをインストール (例 g77)
- 作業フォルダーを作成 (例 C:¥userdir¥)
- 一括準備バッチファイルをg77setup.batから作成

– 動作

- ① g77へのパス通し 
- ② 作業フォルダーへの移動 
- ③ コマンドプロンプト起動 

```
rem g77setup2.bat
SET OLDPATH=%PATH%
PATH=c:¥g77¥bin;%PATH%
SET LIBRARY_PATH=c:¥g77¥lib
cd "C:¥userdir¥"
"C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe"
```

– 詳しくは「コマンドプロンプトからの実行の準備」参照

ファイルの展開

- install-dos-j.txtに従って、ファイルを展開
 - 最低150 MBの空ディスクが必要
 - egs5.tar.gzをホームディレクトリにコピー（ファイル名にはversion番号が付いている場合もある。）
 - egs5というディレクトリ、ファイルが事前に存在してはいけない。
 - egs5.tar.gzをエクスプローラー上でダブルクリックし、ファイルを展開。
 - cd □ egs5（cdはディレクトリを移動するコマンド。その後にスペースを空けて、移動先のディレクトリ名を書く）

egs5run.batの変更

- ・ egs5をインストールしたフォルダ一名をegs5run.bat内のBASKETという変数に書き込む。

例 `BASKET=C:¥egs5`

[エディターを使ったことがない方には、TeraPad, EmEditorなどフリーソフトのエディタでの変更をお勧めします。Wordなどのワープロソフトは制御記号が自動的に挿入され混乱しますので、なるべく使用しないで下さい。]

- ・ g77以外のfortran コンパイラを用いる場合には、そのコンパイラに対応する行のコメントのマークを消し、g77の行をコメントアウトする。(行の先頭にREMと書くとその行はコメント行として扱われ、内容が無視される。)
- ・ `mkdir □ userdir` [mkdirはディレクトリの新規作成コマンド。この場合userdirというディレクトリが作成される]
- ・ `cd □ userdir`
- ・ `cp □ ../egs5run.bat □ ./egs5run.bat` [cp □ A □ BでファイルAがファイルBに複写される。..は一つ上のディレクトリ。./は現在のディレクトリ。/はディレクトリ区切り記号。後半の./egs5runは.と省略可能]

egs5run.batのテスト実行

- `copy ..\samplecodes\ucsampl5* □ .`
- [`*` (半角)はすべてのファイルを表すワイルドカード]
- `egs5run.bat ucsampl5`と入力してEnterを押して下さい。
- これでegs5.batが実行されます。
- `fc □ egs5job.out □ ucsampl5.out`で両者に有意差なしを確認
[`fc □ A □ B` でAとBを比較する]

ユーザーズマニュアル

- [egs5/docs/egs5_user_manual.pdf](#)
- [egs5/docs/pegs_user_manual.pdf](#)
- [egs5/docs/installation_guide.pdf](#)
- [egs5/docs/distribution_contents.pdf](#)
- 事前に読み、不明点を講習会で質問して頂くと、効果的です。また、間違いなどを見つけれられた方は是非お知らせ下さい。
- SLAC730/KEK2005-8:物理モデルなどの説明。

DOSコマンドの初歩

- dir 今いるフォルダー内のファイル、フォルダーの一覧を表示
- REN□A□B ファイルAをファイルBに移動 (renameの略)
□は半角スペースを表す。
- copy□A□B ファイルAをファイルBに複写
- del□A ファイルAを削除 (removeの略)
- . 今いるディレクトリを示す。
- .. 一つ上のディレクトリを示す。
- ¥ フォルダーの区切り記号
- fc□A□B ファイルAとファイルBを空白を無視して比較